

ヒロシマ ナガサキ 最後の 二重被爆者



監督・プロデュース 稲塚秀孝

山口 彊 山崎年子(長女) 山崎大士(孫)

原田小鈴(孫) 原田晋之介(ひ孫)

福井絹代 田平寛幸 平島アヤノ

青来有一 ジェームズ・キャメロン

語り 松崎謙二 松浦 唯

撮影 三浦貴広 稲塚秀孝

編集 池添 俊

音響・音楽 松野 泉

協力プロデューサー 中村英雄 山本シェリー

題字 西本直代

製作 タキオンジャパン

協力 | 国際連合軍縮委員会事務局 米国公文書館 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 長崎原爆資料館
広島平和記念資料館 長崎市原爆被爆対策部 長崎平和推進協会写真資料調査部

©タキオンジャパン/2019

二重被爆とは

1945年8月6日広島、8月9日長崎に原子爆弾が投下された。
広島と長崎で二度被爆した人は「二重被爆者」である。
「二重被爆」(2006)、「二重被爆～語り部・山口彊の遺言」(2011)
に続き、新たに見つかった二重被爆者の証言を加えた。

人間の世界に 核はいらない



山口彊から世界の人々へメッセージ

核は人間の世界にあってはいけない。核は平和的に利用する(原発)と言っても技術的にも倫理的にも問題があり、事故は止まらない。核が無くならないなら、人類は滅亡に近づく。それを伝えるために、今も生かされているという「宿命」があると思っている。

2009年3月16日 山口彊

語り遺し、語り継ぐ

故 山口彊が語り遺し、いま家族・三世代が語り継いでいる。



新たな「二重被爆」の証言者



北辰映像株式会社

〒350-0461 埼玉県入間郡毛呂山町中央3-32-3

TEL:049-298-5792 FAX:049-298-5793

E-mail: co@hokushineizo.com

官公庁価格

¥80,000 (税別)